

業務用ソフトウェア開発のテクノア(岐阜市本荘中ノ町、山崎耕治社長)は、中小製造業向けに社内研修支援サービスを始めた。社長になったつもりで会社経営が疑似体験できるボードゲームを活用して経営者の視点や考え方、キャッシュフローへの理解を深め、経営力強化につなげてもらう。初年度は15社へのサービス提供を目指している。

社員が経営者目線や財務感覚を体系的に身に付けることで、会社の収益力に思考を広げ、資金の流れや利益、コスト構造などに理解を深めることができる。

中小製造業向けに 研修支援サービス

テクノア、経営体験ボードゲーム活用

同社では5年ほど前から、取引先を対象にゲームを活用した講習会を実施。「自社の社内研修でも実施してほしい」というニーズがあり、研修支援サービスに乗り出した。活用するのは、戦略MG研究所(茨城県土古河市)の研修教材「戦略MGマネジメントゲーム」。人生ゲームのようにプレイヤーがボード盤を囲んでカードやチップ、帳票を使い、設備投資や人材採用、仕入れ、販売などの意思決定を行う。ゲームの講師として認定を受けたテクノアの社員が各社に出向き、経営計画や財務指標の分析の仕方、ITの活用方法も助言する。同社は「企業の成長を力強く支援すること、ともに発展していききたい」としている。

研修費用は、同社の生産管理システム「TECHS」シリーズのユーザーが1日コースで16万5千円、2日コースで27万5千円。その他は1日コース22万円、2日コース33万円で行う。別途、講師の交通費が必要。